

■コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科の教員養成目標

■国際コミュニケーション学科■

■中学校一種（英語）

■高校一種（英語）

コミュニケーションは人間と社会の成立基盤である。コミュニケーション学部は、国の内外を問わず加速する社会のグローバル化を、ヒト（人）、モノ（商品）、コト（情報）の「移動（mobility/mobilities）」という観点に基づいて、コミュニケーションと関連づけながら理解する学びを目的とする。基礎的な英語運用能力を背景に、学生の関心に応じた異文化体験と移動を多面的にとらえる学びを組み合わせることで、異文化環境に柔軟に対応できるコミュニケーション力を培う。

また、メディア社会学科との両輪性をいかして、その異文化対応力を同時代のメディア・テクノロジーを活用しながら発揮することのできる、グローバル化する現代社会を生き抜くうえで不可欠な、多様性と変化に対して高度な適応能力を有する人材を育成する。コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科では、「移動」という観点からグローバル化が進行する現代社会におけるコミュニケーションの諸相を深く理解することを目指す。この理念のもと、本学科では柔軟な異文化対応能力と、多様なメディア・テクノロジーを使いこなす情報リテラシーを備えた人材を養成する。この目的の達成のために、講義を中心に必要となる知識や理論を学ぶとともに、演習や異文化体験を通じて国際社会に対応できる実践的なコミュニケーション能力を培うことで、学生の多面的な成長を促す。本学科の中学校一種（英語）の課程では、文化の固有性と多様性に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション・ツールとして英語を教授できる教員の養成を主眼とする。話す、聴く能力と多様な人々と協働する力を重点的に養うことで、中学校英語科教員としてふさわしい資質を育成する。

本学科の高等学校一種（英語）の課程では、話す、聴く、書く、読む能力に加えて、グローバル化の進む現代社会において多様な人びとと協働するための知識と技能を広く学ぶ。これらの学びを通して、高等学校英語科教員として国際化と多様化が進む学校教育現場に適切に対応できる資質を育成する。